

TOWA®

TOUCH REGI.iTR 7000

取扱説明書 — 軽減税率編 —



 **TBグループ**

<http://www.tb-group.co.jp>

目次

1. 軽減税率の設定を行うにあたり	1
2. 軽減税率の設定	2
2-1) 『税金の設定』の説明	2
2-1-1) 通常税率の課税設定	2
2-1-2) 軽減税率の課税設定	3
2-2) 『環境設定』の説明	5
2-2-1) 『13. 宛名欄に「様」を印字する』の設定	6
2-2-2) 『14. 宛名欄に「御中」を印字する』の設定	6
2-2-3) 『15. 事業者番号を印字しない』の設定	7
2-2-4) 『16. 請求書番号の印字』の設定	7
2-2-5) 『17. 軽減税率の注意文を常に印字』の設定	8
2-2-6) 『1. 課税対象額の印字』の設定	8
2-2-7) 『2. 税金金額を印字』の設定	9
2-2-8) 『16. 税印字に税率を付加する』の設定	9
2-2-9) 『4. 領収書を縦型とする』の設定	10
2-3) 『取引名』の説明	13
2-4) データ保存のDBファイルの追加	15
3. 免税事業者の設定	16
3-1) 環境設定の設定	16
3-2) 免税事業者の税金の設定	16
3-3) 部門/品番の設定	16
3-4) 免税事業者の売上印字例	16
4. インボイスの設定	17
4-1) 事業者番号の設定	17
4-2) 請求書番号の設定	18
4-3) 事業者番号、請求書番号のクリア	19

1. 軽減税率の設定を行うにあたり

軽減税率対応バージョン

- ・ iTR 7000 MONSTERA 対応版： Ver. 4. 1. 0 以降
- ・ iTR 7000 EXCELLEO 対応版： Ver. 4. 0. 0 以降

⚠ バージョンアップ時のご注意

- 1) 旧バージョンのバックアップデータを読み込んだ際には、必ず、アップデート操作 (UpDate.exe) を実行してください。
- 2) 旧バージョンにて、「新旧マスタ管理」機能を使用して新マスタ (変更予約対象のマスタ) を編集し保存している場合、アップデート操作を実行しても、新マスタのレイアウトは更新されません。

⚠ 使用上のご注意

- 1) 本書記載の内容は 2016 年 6 月現在の情報をもとに作成しております。制度変更等の事情により、予告なく本書の内容及びレジソフトウェア (アプリケーション) を変更する場合があります。
- 2) 小計後値引き操作時、各税額への値引き額按分 ※従来と同様の仕様となります。(例：課税 1 と課税 2 の販売が混在した登録において、小計後に値引き操作を行う。この際、値引き後の金額から税額を計算する為には、各税額に対して値引き額の按分が必要となりますが、値引きに設定した課税フラグに応じた計算となります。)
- 3) 小計後割引・割増操作時、複数税額への割引・割増 ※従来と同様の仕様となります。(例：課税 1 と課税 2 の販売が混在した登録において、小計後に割引・割増操作を行う。この際、割引・割増後の金額から税額を計算する為には、各税額に対して、同率の割引・割増計算が必要となりますが、1つの課税のみ対応が可能となります。)
- 4) オーダリングシステムと連動して使用する場合、iTR 7000 の課税 1 の税率はオーダリングシステムで使用する税率となっています。また、課税 1 は内税、課税 2 は外税で固定となります。
- 5) オーダリングシステムのテイクアウト用税率を設定する事が出来ます。iTR 7000 で「軽減税率」フラグを設定した一番若い課税番号の税率をテイクアウト税率として、オーダリングシステムで使用します (「軽減税率」フラグを設定していない場合は、従来通り、オーダリングシステムの通常税率とテイクアウト税率には同じ課税 1 の税率が適用されます)。なお、通常税率商品をオーダリングシステムのテイクアウトファンクション操作で登録した場合には、オーダリングデータ読込時に、「軽減税率」フラグを設定した一番若い課税番号 (内税/外税も区別します) に課税をシフトとして登録されます。
- 6) 下記に挙げるオプションは軽減税率に対応していません。
 - オーダーキャッチにて、タブレットからの番号による登録時、テイクアウトファンクションが有効とならない為、テイクアウト品であっても通常税率として登録されます。

2. 軽減税率の設定

2-1) 『税金の設定』の説明

◆コントロール画面：設定1 【税金の設定】で行います。

最大8種類の税に対応可能です。



⚠ 注意

オーダリングシステムを接続して使用する場合、課税1（内税）、課税2（外税）をオーダリングシステム接続用に使用せず（課税1の税率がオーダリングシステムで使用する税率になります）。そのため、課税3～課税8を軽減税率としてご使用ください。

例) 通常税率を課税1（内税）、課税2（外税）、軽減税率を課税3（内税）と設定した場合
(2016年6月現在)

2-1-1) 通常税率の課税設定

① 課税1の「レート」欄をダブルタッチ



② レートの設定

[1] [0] [OK]

税率 10%



③ 種別の設定

課税1の「種別」欄をタッチしてから【▼】をタッチし、ドロップダウンの中から【内税】をタッチする。



2-1-2) 軽減税率の課税設定

① 課税3の「レート」欄をダブルタッチ



② レートの設定

[8] [OK]
税率 8%



③ 種別の設定

課税3の「種別」欄を2回タッチ。
【▼】をタッチし、ドロップダウンの中から【内税】をタッチする。



④ 軽減税率対象の設定

スクロールバーの[▶]押し、課税3の「軽減税率対象」をダブルタッチ。
 (*マークが表示されます)



トマト ※	¥98
レタス ※	¥198
赤ワイン	¥3,500
鶏もも肉 ※	¥304
内税売 (10%)	¥3,500
内税 (10%)	¥318
軽減課税売 (8%)	¥600
軽減税 (8%)	¥44
買上点数	4点
合計	¥4,100
お預り	¥5,000
お釣	¥900

軽減税率商品 (課税3を選択した商品) に“※”を印字します

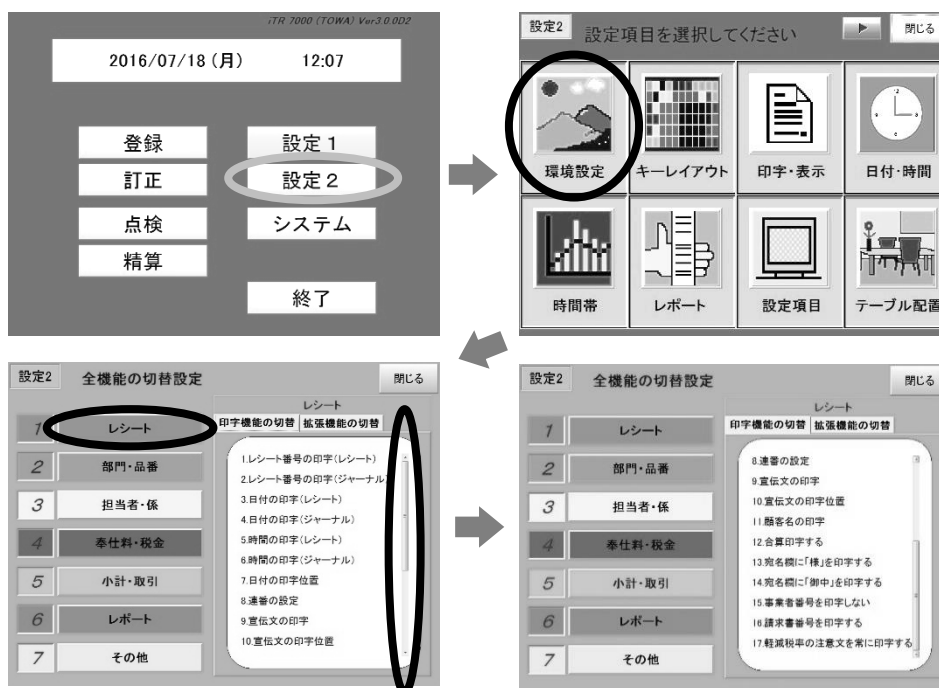
軽減税率商品を売り上げた時、この注意文を印字します
 但し、軽減税率対象の課税売が“0円”の時は印字しません

注) ※印は軽減税率 (8%) 適用商品です

担当者 担当者1
 レシート番号 000001 01:10PM
 事業者 No : ABC1234567890

2-2) 『環境設定』の説明

◆コントロール画面：設定2 【環境設定】で行います。
ここでは軽減税率に関する主な税関係の環境設定について説明します。
記載がない環境設定については別冊『iTR 7000 取扱説明書 設定編』をご参照ください。また軽減税率に伴い【レシート】の『13.宛名欄に「様」を印字する』～『17.軽減税率の注意文を常に印字する』と【奉仕料・税金】の『16.税印字に税率を付加する』を新設しました。

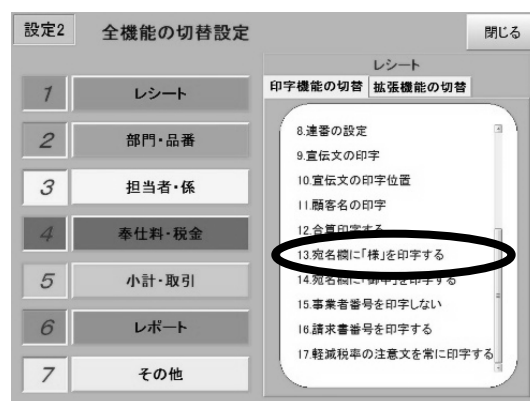


⚠ 注意

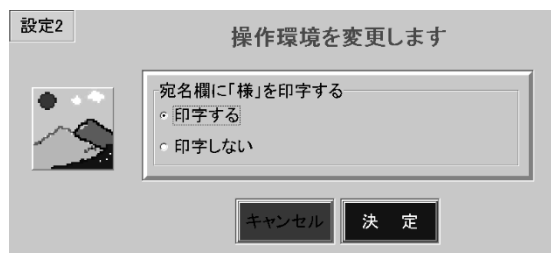
環境設定を設定した時の印字例は 11～12 ページにあります。ご参考ください。

2-2-1) 『13. 宛名欄に「様」を印字する』の設定

- ① 『▼』『▲』をタッチし、『13. 宛名欄に「様」を印字する』が表示するところまでスクロールバーを移動する

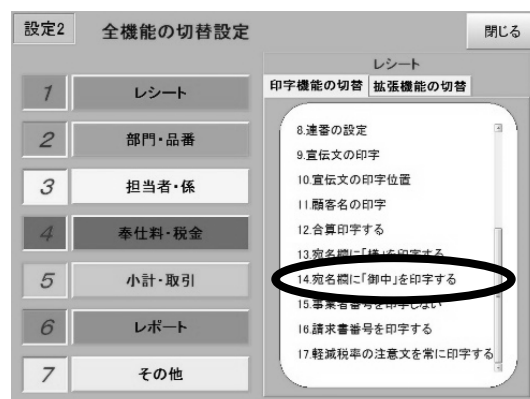


- ② 『13. 宛名欄に「様」を印字する』をタッチする
- ③ 『印字する』または『印字しない』をタッチし『決定』をタッチする

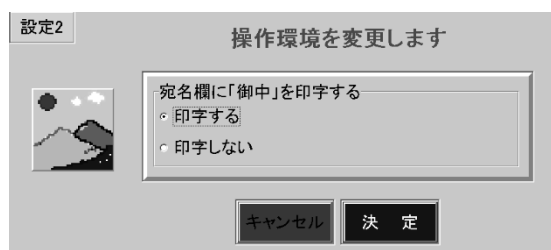


2-2-2) 『14. 宛名欄に「御中」を印字する』の設定

- ① 『▼』『▲』をタッチし、『14. 宛名欄に「御中」を印字する』が表示するところまでスクロールバーを移動する



- ② 『14. 宛名欄に「御中」を印字する』をタッチする
- ③ 『印字する』または『印字しない』をタッチし『決定』をタッチする

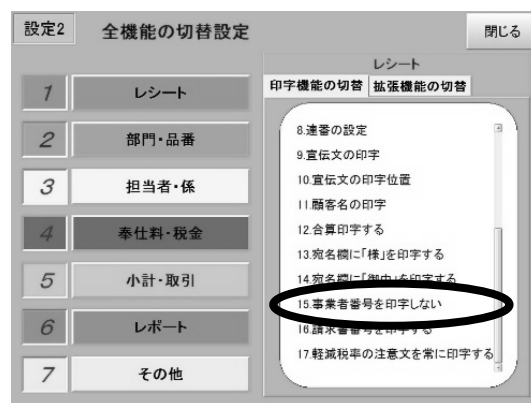


⚠ 注意

『13. 宛名欄に「様」を印字する』と『14. 宛名欄に「御中」を印字する』の両方を『印字する』と設定した場合「様」が印字します。

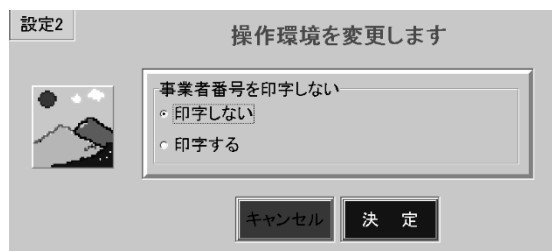
2-2-3) 『15. 事業者番号を印字しない』の設定

- ① 『▼』『▲』をタッチし、『15. 事業者番号を印字しない』が表示するところまでスクロールバーを移動する



- ② 『15. 事業者番号を印字しない』をタッチする

- ③ 『印字しない』または『印字する』をタッチし『決定』をタッチする

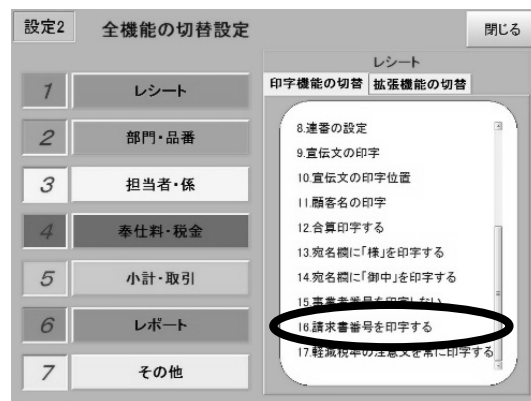


⚠ 注意

事業者番号を設定するとレシート下部に印字します。印字をさせたくない場合、この設定を『印字しない』に設定します。

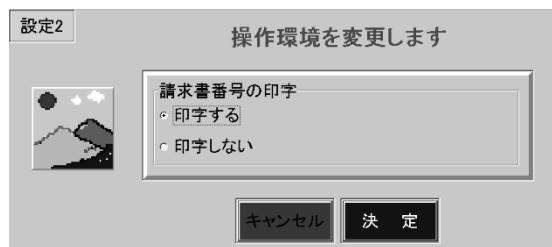
2-2-4) 『16. 請求書番号の印字』の設定

- ① 『▼』『▲』をタッチし、『16. 請求書番号の印字』が表示するところまでスクロールバーを移動する



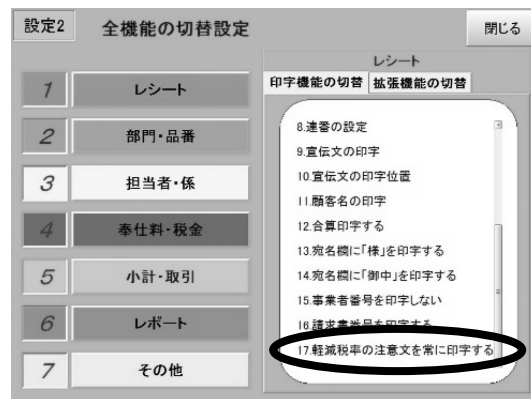
- ② 『16. 請求書番号を印字』をタッチする

- ③ 『印字する』または『印字しない』をタッチし『決定』をタッチする

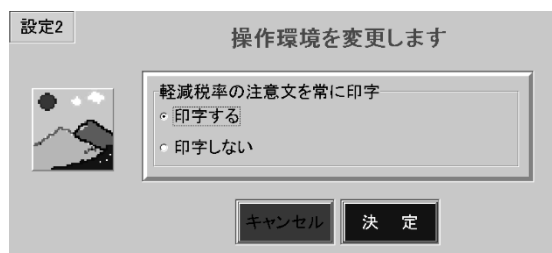


2-2-5) 『17. 軽減税率の注意文を常に印字』の設定

- ① 『▼』『▲』をタッチし、『17. 軽減税率の注意文を常に印字』が表示するところまでスクロールバーを移動する



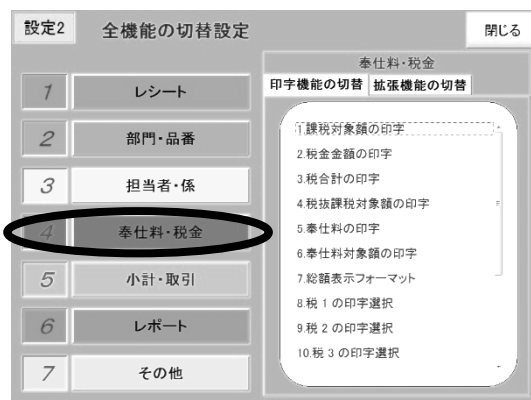
- ② 『17. 軽減税率の注意文を常に印字』をタッチする



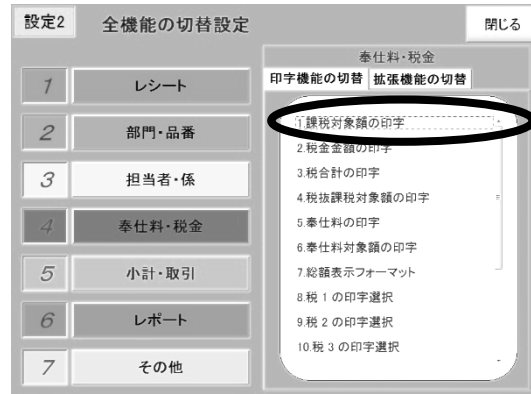
- ③ 『印字する』または『印字しない』をタッチし『決定』をタッチする

2-2-6) 『1. 課税対象額の印字』の設定

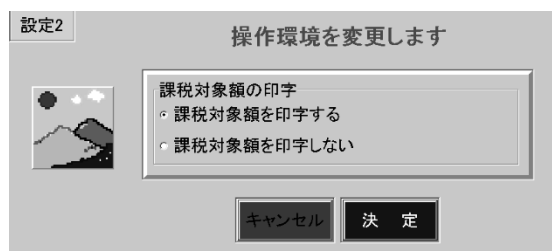
- ① 左側の『奉仕料・税金』をタッチし、税金関係の設定欄を表示する



- ② 『▼』『▲』をタッチし、『1. 課税対象額の印字』が表示するところまでスクロールバーを移動する



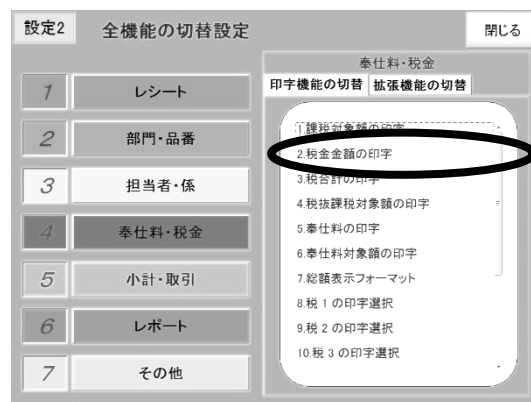
- ② 『1. 課税対象額の印字』をタッチする



- ③ 『印字する』または『印字しない』をタッチし『決定』をタッチする

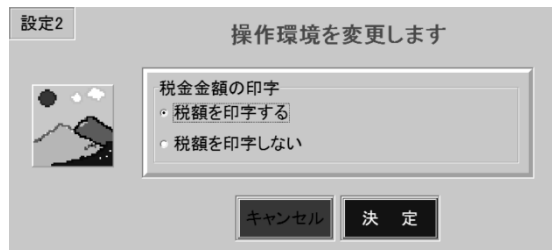
2-2-7) 『2. 税金金額を印字』の設定

- ① 『▼』『▲』をタッチし、『2. 税金金額の印字』が表示するところまでスクロールバーを移動する



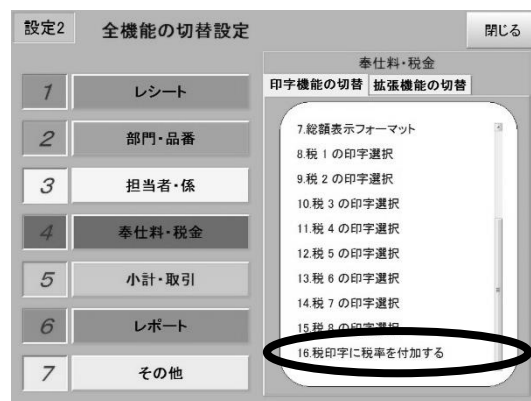
- ② 『2. 税金金額の印字』をタッチする

- ③ 『印字する』または『印字しない』をタッチし『決定』をタッチする



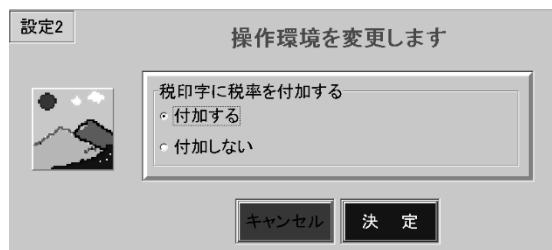
2-2-8) 『16. 税印字に税率を付加する』の設定

- ① 『▼』『▲』をタッチし、『16. 税印字に税率を付加する』が表示するところまでスクロールバーを移動する



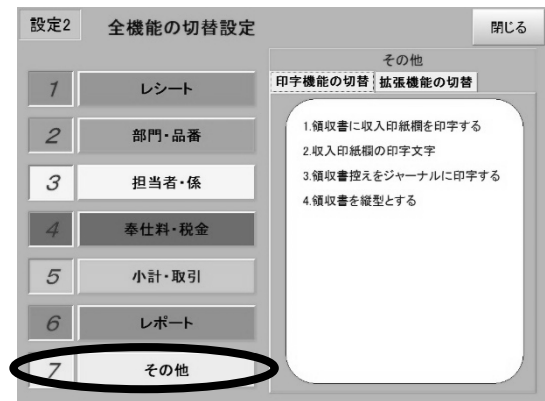
- ② 『16. 税印字に税率を付加する』をタッチする

- ③ 『付加する』または『付加しない』をタッチし『決定』をタッチする

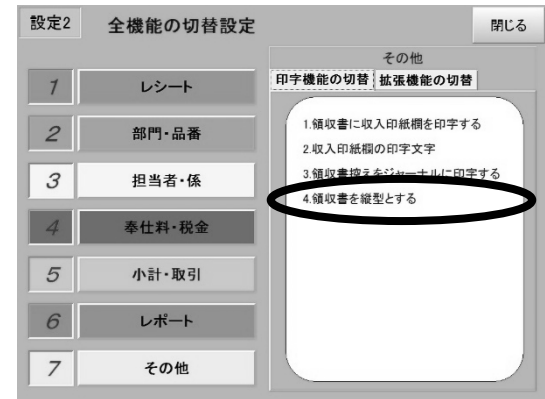


2-2-9) 『4. 領収書を縦型とする』の設定

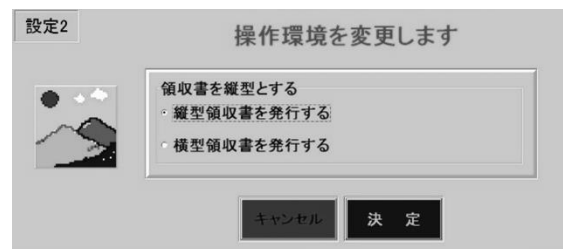
- ① 左側の『その他』をタッチし、その他の設定欄を表示する



- ② 『▼』『▲』をタッチし、『4. 領収書を縦型とする』が表示するところまでスクロールバーを移動する



- ③ 『4. 領収書を縦型とする』をタッチする



- ④ 『縦型で発行する』または『横型で発行する』をタッチし『決定』をタッチする

《レシート印字例》

様	【レシート】 『13.宛名欄に「様」を印字する』と設定 『14.宛名欄に「御中」を印字する』も設定されていた場合は『様』を印字する
2020年4月1日水曜日 トマト ※ ¥98 レタス ※ ¥198 赤ワイン ¥3,500 鶏もも肉 ※ ¥304 買上点数 4点	
内税売 (10%) ¥3,500 内税 (10%) ¥318 軽減課税売 (8%) ¥600 軽減税 (8%) ¥44	【奉仕料・税金】 『1.課税対象額の印字する』【奉仕料・税金】 『2.税金金額を印字する』 『16.税印字に税率を付加して印字する』と設定 注1: レポートの税率印字もこのフラグに従う 注2: 税率が0%の場合 <ul style="list-style-type: none"> ● 軽減税率対象の課税で、税率が0%の場合は※印を印字 ● 軽減税率でなく、税率0%の場合は税率印字をしない(スペース)
合計 ¥4,100 お預り ¥5,000 お釣 ¥900	
注)※印は軽減税率 (8%)適用商品です	【レシート】 『17.軽減税率の注意文を常に印字する』と設定した場合、軽減税率対象商品売上が無い時も印字する 但し、課税1~8の中で軽減税率対象が1つも設定がない場合、この注意文を印字しません
担当者 担当者1 レシート番号 000001 01:10PM	【レシート】 『15.事業者番号を印字する』と設定 事業者番号を設定するとレシート下部に印字。印字をさせたくない場合は“印字しない”に設定
事業者番号: ABC1234567890	【レシート】 『16.請求書番号を印字する』と設定 請求書番号をレシート下部に印字する
請求書番号: 00000001	

《縦型領収書の印字例》

領 収 書

様

2020年4月1日水曜日

トマト ※	¥98
レタス ※	¥198
赤ワイン	¥3,500
鶏もも肉 ※	¥304
買上点数	4点
内税売 (10%)	¥3,500
内税 (10%)	¥318
軽減課税売 (8%)	¥600
軽減税 (8%)	¥44
合計	¥4,100
お 預 り	¥5,000
お 釣	¥900

注) ※印は軽減税率
(8%)適用商品です

担当者 担当者1
レシート番号 000001 01:10PM
事業者番号 : ABC1234567890
請求書番号 : 00000001

| 収入 |
| 印紙 |

上記の金額正に
領収致しました

‘* 保管上のお願い *
このレシートは感熱紙の為
保管には十分ご注意ください
No:000001

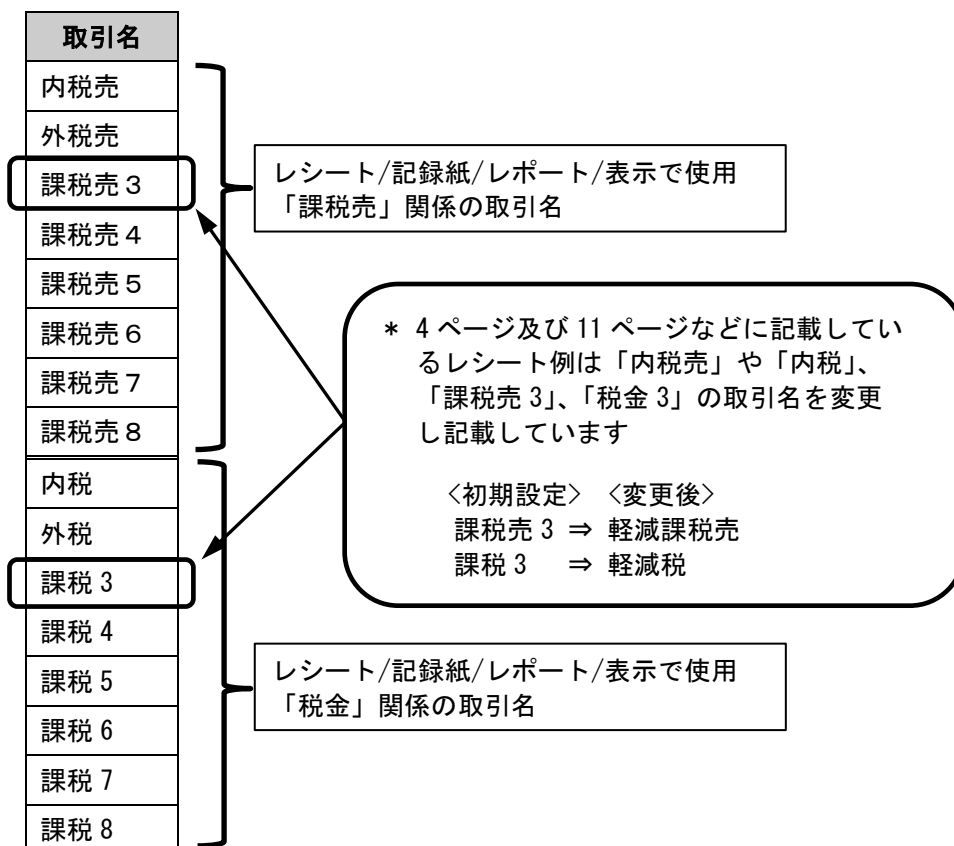
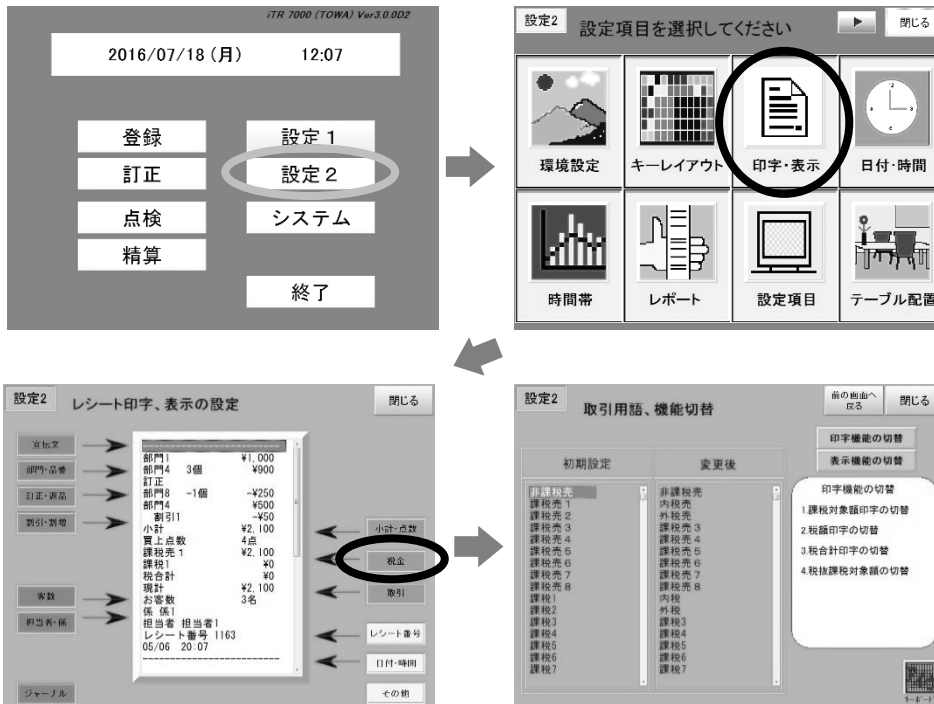
【その他】
『4. 領収書を縦型とする』と設定
領収書を縦型に印字する

【その他】
『1. 領収書に収入印紙欄を印字する』と設定
領収書に収入印紙欄を印字する

【その他】
『2. 収入印紙欄の印字文字』の設定
『印紙税法第5条の規定により収入印紙不要』と
印字する場合設定する

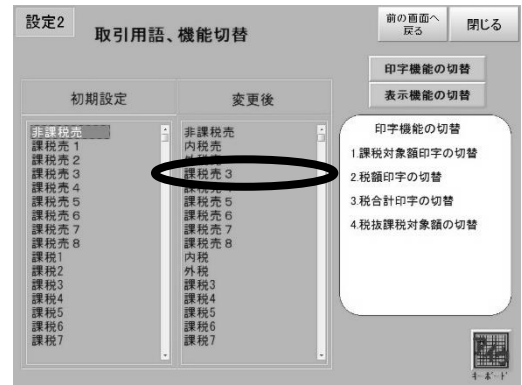
2-3) 『取引名』の説明

◆コントロール画面：設定2 【取引名】【税金】で行います。
 「課税売3」や「課税3」など課税に関する取引名です。



例) 課税売3を軽減課税売と変更する場合

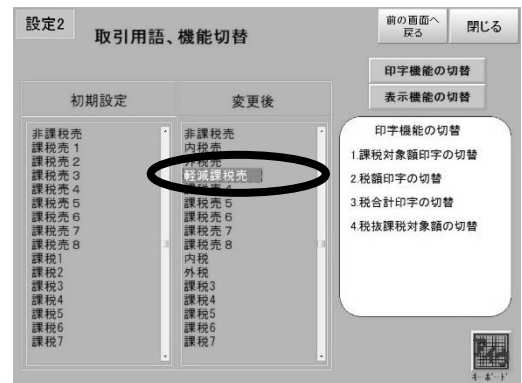
① 前頁操作を行い税金取引名設定画面が表示する



② 変更後側の『課税売3』をダブルタッチする



③ 50音表を使用し変更する取引名を入力して、『終了』をタッチする



④ 変更した取引名の以外の取引名をタッチし変更内容を確定させる



注意

取引名変更後、変更した取引名以外の取引名をタッチし変更内容を確定させてください。
操作を忘れた場合、元の取引名に戻ってしまいますのでご注意ください。

2-4) データ保存のDBファイルの追加

2-4-1) TaxMst. DB の追加内容 (税率マスタ)

TAXNO	RATE	NAME	CLASS	DEDUCT1	DEDUCT2	LIMIT1	LIMIT2	KIND	Round	Digit
1	10	内税	2					FALSE		
2	10	外税	1					FALSE		
3	8	課税 3	2					TRUE		
4		課税 4						FALSE		
5		課税 5						FALSE		
6		課税 6						FALSE		
7		課税 7						FALSE		
8		課税 8						FALSE		

軽減税率対象と設定した場合【KIND】項目の内容が『TRUE』になります

2-4-2) JurnalMst. DB の追加内容 (ジャーナルマスタ)

JOURNALNO	RECEIPTNO	SDATE	STIME	STORENO	MACHINENO	CASHIerno	CASHIERNAME
1	1	2020/4/1	13:10:20			1	担当者 1
2	2	2020/4/1	13:15:40			1	担当者 1

CLERKNO	CLERKNAME	GUESTNO	GUESTNAME	GTJOURNALNO	CREDIT	CUSTNO	ENTERPRISER	BILLNUMBER
0		0		1		1	ABC1234567890	1
0		0		2		1	ABC1234567890	2

【ENTERPRISER】項目が追加になり事業者番号が入ります

【BILLNUMBER】項目が追加になり請求書番号が入ります

3. 免税事業者の設定

免税事業者とは課税期間の基準期間における課税売上高が1,000万円以下の事業者のことで

例) 通常税率を課税1、軽減税率を課税3と設定した場合(2016年6月現在)

3-1) 環境設定の設定

◆コントロール画面: 設定2 【環境設定】【レシート】で行います。

免税事業者で必要となる環境設定は以下の通りです。

番号	項目	環境設定内容	設定内容
1	レシート	課税対象額の印字	課税対象を印字する
2	レシート	税金金額の印字	税額を印字しない
16	奉仕料・税金	税印字に税率を付加する	付加する



3-2) 免税事業者の税金の設定

◆コントロール画面: 設定1 【税金の設定】で行います。

税金の設定は以下の通りです。

課税	名前	レート	種別	控除額1~ 限度額2	軽減税率	まるめ
1	内税	0%				
3	課税3	0%			*	



3-3) 部門/品番の設定

◆コントロール画面: 設定1 【部門の設定】【品番の設定】で行います。

商品内容に合わせ、通常商品/軽減税率商品に振り分け課税1、課税3を選択します。

3-4) 免税事業者の売上印字例

様	
2020年 4月 1日(水)	
トマト ※ ¥98	
レタス ※ ¥198	
赤ワイン ¥3,500	
鶏もも肉 ※ ¥304	
買上点数 4点	
内税売 ¥3,500	◇ 税率0%の軽減税率対象商品を売上時、税率の代わりに“※”を印字します。
軽減課税売 ※ ¥600	
合計 ¥4,100	
お預り ¥5,000	
お釣 ¥900	
注) ※印は軽減税率 適用商品です	◇ 税率0%の軽減税率商品を売上時、注意書きに税率は印字されません。
担当者 担当者1	
レシート番号 000001 1:10PM	
事業者 No : ABC1234567890	

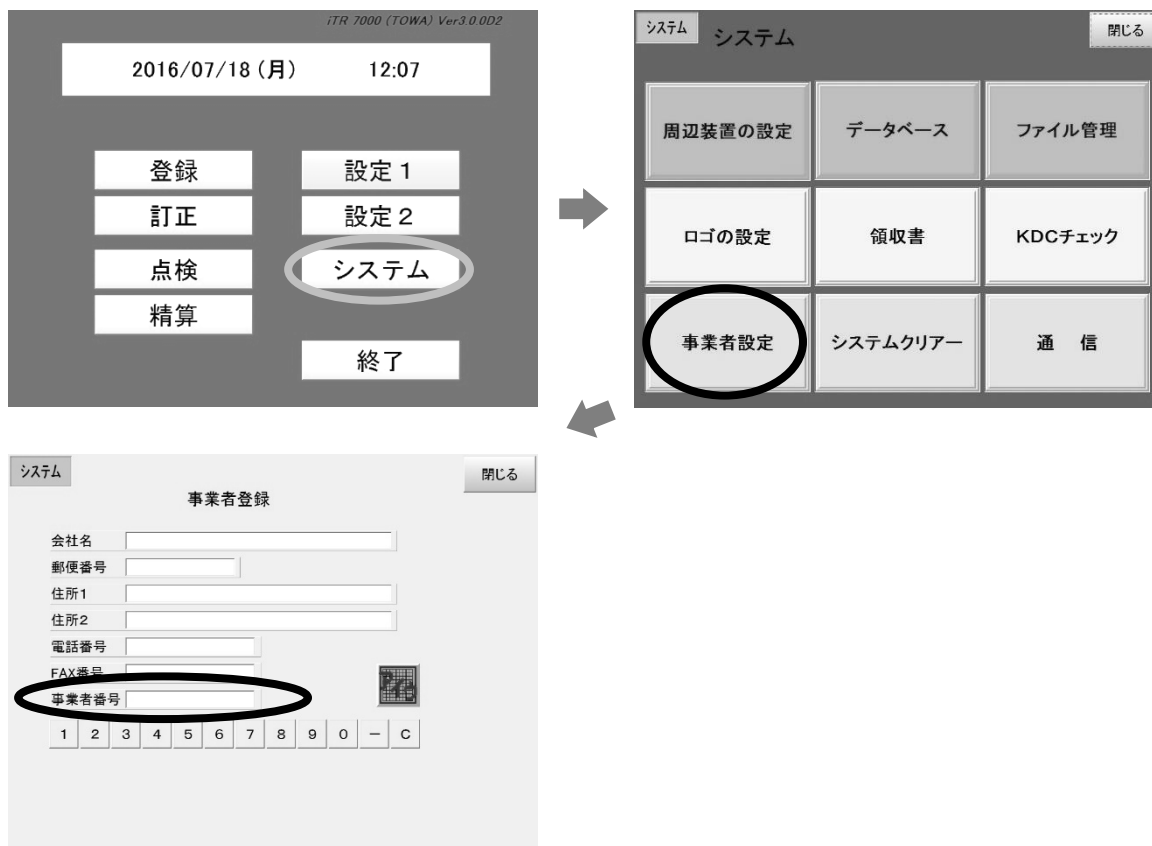
4. インボイスの設定

4-1) 事業者番号の設定

◆コントロール画面：システム 【事業者設定】で行います。

最大 半角 16 桁の設定が可能です。

事業者設定



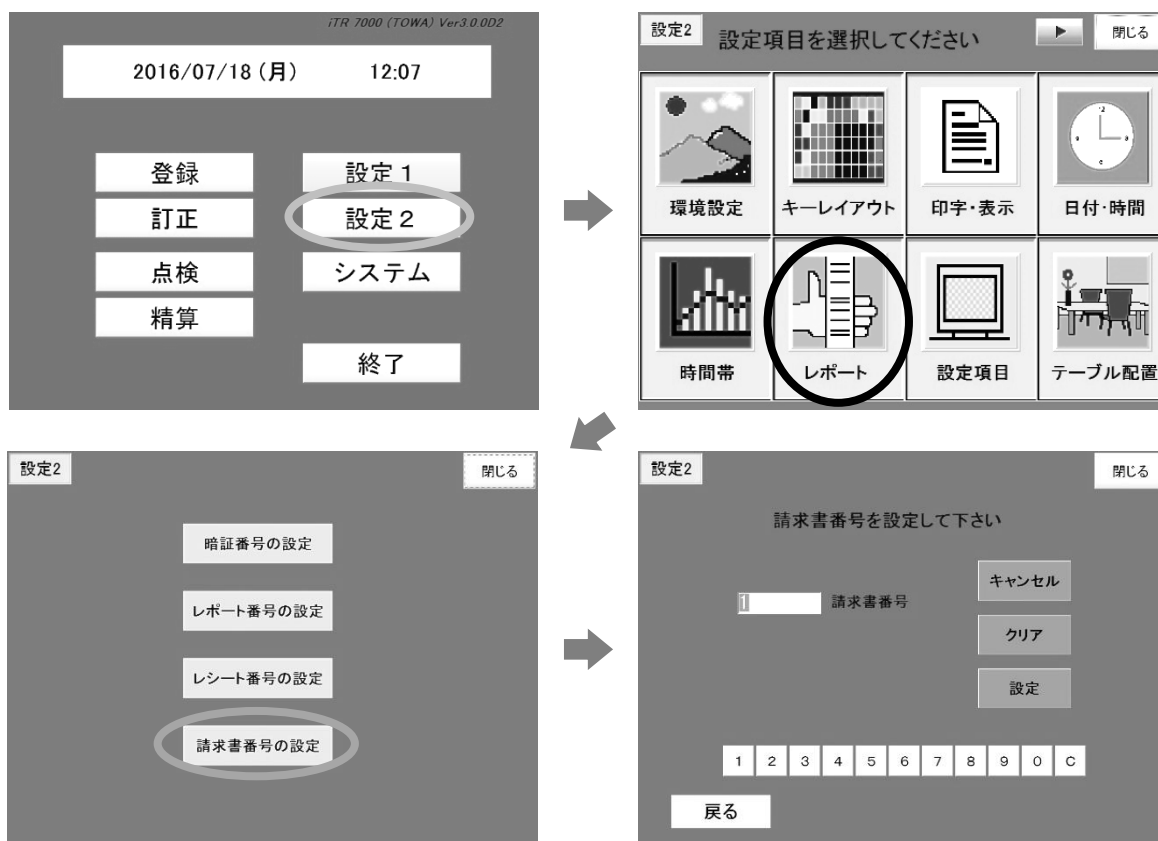
⚠ 注意

- 1) 事業者番号を設定するとレシートに事業者番号を印字します。印字させたくない場合は【設定 2】【環境設定】【レシート】『15. 事業者番号を印字しない』と設定してください。詳しくは7ページ『2-2-3) 『15. 事業者番号を印字しない』の設定』の説明をご参照ください。
- 2) データ保存の DB ファイルの記憶位置について、15 ページ『2-4) データ保存の DB ファイルの追加』をご参照ください。

4-2) 請求書番号の設定

◆コントロール画面：設定2 【レポート】で行います。

最大8桁の設定が可能です。



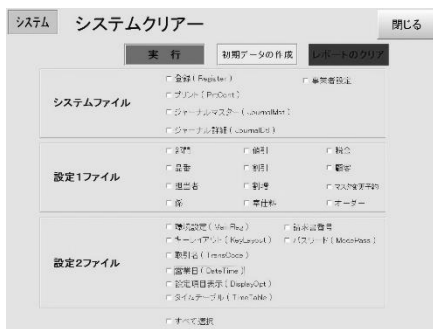
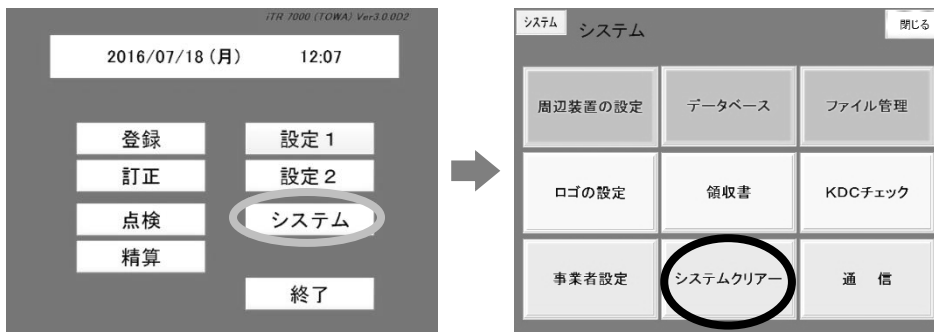
⚠ 注意

- 1) 請求書番号をレシートに印字する場合は【設定2】【環境設定】【レシート】『16. 請求書番号を印字する』と設定してください。
詳しくは7ページ『2-2-4) 『16. 請求書番号の印字』の設定』の説明をご参照ください。
- 2) データ保存のDBファイルの記憶位置について、15ページ『2-4) データ保存のDBファイルの追加』をご参照ください。

4-3) 事業者番号、請求書番号のクリア

システムクリアー

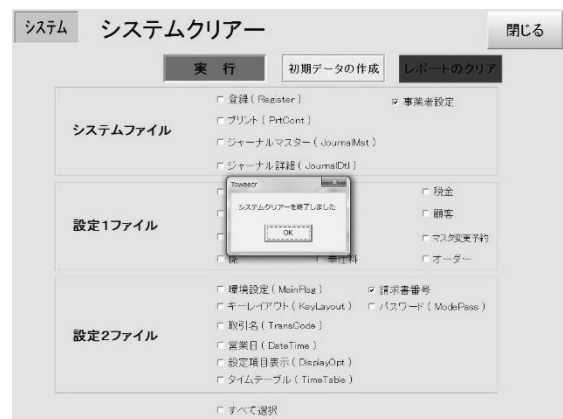
◆コントロール画面：システム 【システムクリアー】で行います。



① 【システムファイル】項目内にある『事業者設定』または【設定2ファイル】『請求書番号』にタッチし、チェックを入れる



② 『実行』をタッチする



⚠ 注意

請求書番号は精算で『全部門*取引レポート』を発行しても0には戻りません。システムクリア、または【設定2】【レポート】【請求書番号の設定】にて、請求書番号を直接編集してください。

Z1AE-1333AX
1609